

クマ出没が多くなる時期です ⚠️クマ注意

問 農業政策推進課農業振興室（☎53-3369）

冬眠前の秋は、クマの活動が活発になります

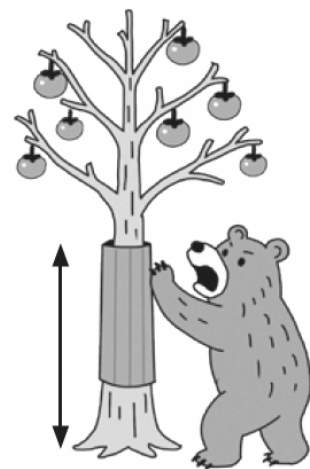
近年、クマの餌となる木の実や果樹などに誘引されて、人の生活圏周辺での出没や目撃が多発しています。クマによる人身被害が懸念されていることから、クマを人里に寄せ付けないために、一人一人ができることを行っていきましょう。



クマを人里に寄せ付けないために

クマは柿や栗、クルミが好物といわれています。以下のような管理や除去を徹底しましょう。

- ・農地の野菜や果実は残さず収穫するか必要な量を剪定し、不要分は処分する
- ・生ごみや農作物の廃棄残渣は放置しない
- ・草刈り機用のガソリンなどの揮発性物質は誘因物となるので、保管場所に注意する
- ・クマの木登りを防止するために、果樹木を伐採するかトタンを設置する



トタンの高さは
180cm以上

クマに出会わないために

- ・ラジオや鈴などを携行し、クマに自分の存在を知らせる
- ・早朝や夕方はクマの活動が活発になるため、この時間帯に山に入ることは避ける
- ・クマの足跡や糞を見つけたらすぐ引き返す
- ・子グマを見かけた場合、近くに母グマがいる可能性が高いため、決して近づかない
- ・クマの餌になる生ごみなどは持ち帰る
- ・クマの出没情報をホームページで確認する

もしもクマに出会ってしまったら

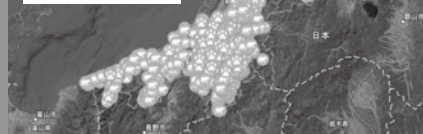
走って逃げたり、大声を出したりすると、クマが驚いて攻撃してくる危険性があります。クマから目を離さず、落ち着いて、背を向けずにゆっくりその場から離れましょう。万が一、自分に向かってきたら、頭や首を両手で守ってうずくまるなどの防御姿勢をとってください。

【クマを目撃したら】

村上市役所（☎53-2111）または
村上警察署（☎52-0110）までご連絡ください。



最新の出没状況を確認！

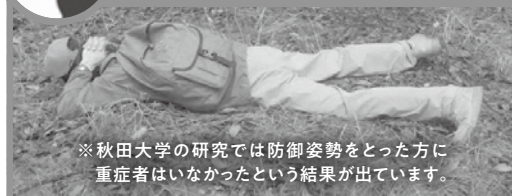


県内のクマの出没情報は

にいがたクマ出没マップ | Q



クマに襲われた場合、地面に伏せて
頭・首・腹を守る



※秋田大学の研究では防御姿勢をとった方に
重症者はいなかったという結果が出ています。

美しい景観を後世に引き継ぐために

問【景観】都市計画課建築住宅室（☎75-8947）【歴史まちづくり】都市計画課都市政策室（☎75-8946）

景観には、海や川、山などの自然が生み出す景観と歴史的な建造物、町並みが創り出す景観があり、お祭りなど心に残る風景も景観の一つです。これらの景観は、それぞれ異なる自然条件や歴史の中で築かれてきた地域固有の財産であることから、市では、「村上らしい景観」を後世に継承するまちづくりを進めています。

『景観を創る』取り組み

歴史的な町並み景観を作り出すため、町並みを構成するおのおのの建物を、昔の面影が残る町家などに調和した外観にすることで歴史的な町並みを作り出しています。景観計画や歴史的風致維持向上計画では、建造物の外観の修理、修景をする際の支援制度を設けています。



▲▼町並みに調和した建物の修景



『景観を守る』取り組み

昔の面影が残る町家などの歴史的な建造物を残すことは、町並み景観の保全につながります。

また、街路樹や生垣の剪定などの美化活動も、大事な景観まちづくりの一つです。景観計画重点地区の旧武家町地区では、申請のあった生垣所有者へ剪定のためのごみ袋引換券を配布して、生垣の保全に努めています。



▲街路樹を剪定する美化活動
(村上地域まちづくり協議会)



▲旧武家町地区の生垣

村上らしい景観を後世に

～ご協力をお願いします～

景観の保全や景観づくりには、長い年月が必要です。

地域の景観がさらに魅力あるものとなるためには、一人一人が主役となり、事業者や行政と協働で景観づくりに取り組むことが大切です。皆様のご理解とご協力をお願いします。

また、歴史や文化、風土などの特色を残している地域では、村上らしい景観を形成するため、建築物の外観の修理、修景をする際の支援制度を設けています。基準などの詳細については、お問い合わせください。

